クラス	305		担当教員	東内 瑠里子
テーマ		乳幼児の生活体験(自然、食、生活習慣、関わり)と保育実践研究		
		【保育分野】「第7章 数や文字等への興味」『保育内容シリーズ 領域「環境」』2018年2		
著書∙論文		月、「小学校との連携」『生活事例から始める 保育内容「環境」』2023年3月(予定)、他		
		【子育て支援分野】2022 年度厚労省委託研究事業「子育て援助活動支援事業(ファミリ		
研究課題等		ー・サポート・センター事業) における提供会員の確保方策等の取組事例に関する調査研		
		究」(2023年3月31日まで)		

ゼミナール概要

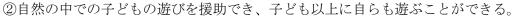
キーワード:キーワード:乳幼児の生活、自然、食、生活習慣、関わり

目的:

本ゼミは、3年次に、美浜町の季の野の台所(農園)における「森のようちえん」の運営 (右の OR コード参照) を通して、実際の親子とのかかわりから、子どもの自然認識の発達 理解や、保護者理解、学生自身の実践力を養うことを目的としている。

学習目標:

①乳幼児の生活体験(自然、食、生活習慣、関わり)と保育実践研究の先行研究・先行実践を整理できる。



- ③子どもの姿の記録を書き、実践を評価できる。
- ④保護者の声をきき、子育ての応援団として、子育てを共に行う姿勢をもつことができる。
- ⑤森のようちえんの運営に関わりながら、関係者との対話を通して、企画・準備・実践・評価・改善を行うことができる。

内容、方法、授業計画等

毎回、子どもの姿を記録し、子どもの発達について議論していく。時間割上のゼミの時間だけではなく、月1回、土曜日または日曜日に活動を行う。場所は、美浜町の季の野の台所をフィールドとする(QRコード④参照)。

「森のようちえん」の1日の流れは、自由遊び→主活動(参加は自由)→自由遊びである。子どもは自然の中に入ると、自分から遊びを発見したり、創造したり、友達の遊びを模倣したりしながら、自分を育てる力をもっている。学生は、子どもと保護者の両方に関わり、その姿から学ぶ。1年間の主活動の流れを大まかに「出会い」「ふれあい」「共同」「生活の創造」「文化の創造」という6つのステップに位置づけているが、企画の詳細については、ゼミ生のアイデアを取り入れながら運営を行う。詳しくは、参加してくださる保護者と学生とで、Facebookに活動内容を記録しているので参考にしてほしい(QRコード②③参照)。

以上で培った実践知を踏まえ、4年生では、卒業研究に取り組む。卒業研究では、森のようちえんをテーマにする学生が多くいる。また、4年次も継続して森のようちえんに参加することができる。

しかし、1年間森のようちえんに参加してみて、森のようちえん以外で卒業研究をしたいということであれば、本ゼミは「調査研究」(現場に行き、フィールドワークを行う)または「卒業制作」(制作物をつくり、試行錯誤したプロセスや、制作物の価値をレポートする)に限定して指導している。

②学生の学びの紹介

③インスタ (専修用)

③Facebook

④フィールド

さこふの森のミサ内東▼









※QR コードが読み取りづらいときは、読み込む QR コードの両サイドの QR コードを手や紙などで隠すと、読み込みやすくなります。

担当教員からのメッセージ

まず自然と人間が好きな人、そして**謙虚**に子どもや保護者および友達から学ぶ姿勢のある人、友達の学びを共に支えあおうとする姿勢を持てる人を募集します。無断欠席厳禁。森のようちえんは全員参加します。